

ODA

ピアネット・イルカ

つうかん
ODA通巻：1436



発行 社会福祉法人
沖縄県身体障害者福祉協会

編集人 NPO 法人沖縄県自立生活センター・イルカ

住所 〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐4-4-1(1F)

単価 100円(会費に含)

TEL 098-890-4890
FAX 098-897-1877

もくじ

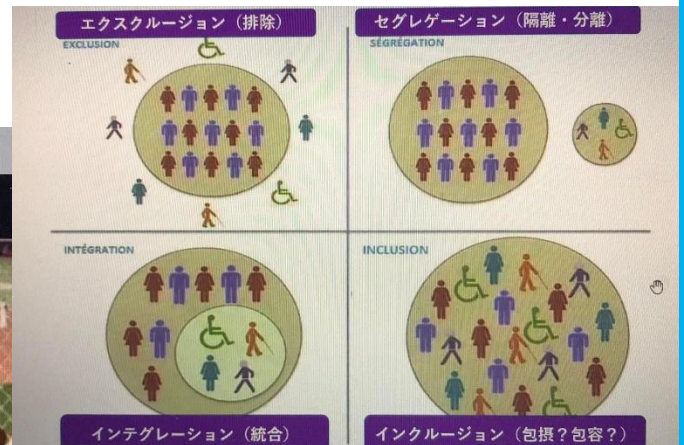
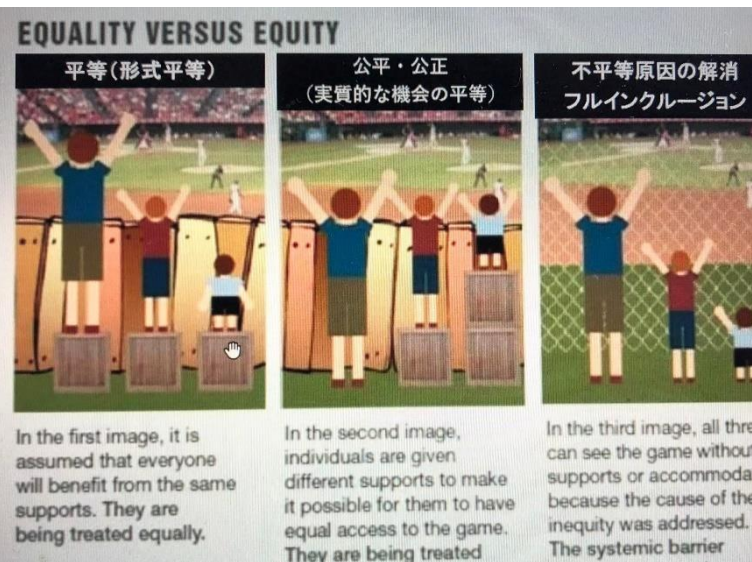
- 2 ページ.....^{きょういく} ^{けんしゅう}教育インクルーシブ研修
- 3 ページ.....^{とうじしゃ} ^{じりつせいかつ}当事者の自立生活
- 4 ページ.....^{こうえん}公園のバリアフリーチェック

教育インクルーシブ研修

コミュニケーションの障壁について理解を深め、支援に活かすための合同研修を行いました。約30名の特別支援員や特支コーディネーターのみなさんと、価値観の違いや思い込みについての気づきや、解決のヒントについて対話することができました。

機能的な障害は変えられなくても、変えなくても、環境の中の障害(障壁)は対話によって解消することができます。「大変」「つらい」だろうなあと思いついて入っている障害とは、実は無理解からくる差別や偏見、環境の側にある障壁であることが多いのです。それに気づくことさえできれば、あらゆる人々の社会参加の機会は平等に近づけられるものです。

一方向の考えに基づく排除や分離が、「統合」そしてその先の本当の「共生」(インクルーシブ)へ変化していく世の中を作っていきたいですね。みなさん、お疲れさまでした。



コミュニケーション手法① 対人理解と信頼関係

- ① 対象者理解 個人特性の理解 価値観の理解 環境の理解
- ② 信頼関係の構築
- ③ 対人援助の原則
 - 受容の原則 (感情を受容する)
 - 非審判的態度の原則 (自分の価値観で判断しない)
 - 意図的な感情表出の原則 (感情の表現力と感情の明確化)
 - 統制された情報関与の原則 (感情のコントロール)
 - 自己決定の原則 (当事者主体 人生を決めるのは自分自身)
 - 秘密保持の原則 (情報の共有と秘密保持のジレンマ)

当事者の自立生活

2016年の12月に地元の宮古島から、沖縄(本島)の自立生活センター・イルカにヘルパーを使って自立生活ができるように勉強をしに来ました。

最初は、人見知りなのでヘルパーに指示を出すのも緊張しましたが、徐々に慣れて少しずつ指示の出し方を覚えました。

住まいは体験室を使わせてもらうところから始まり、コーディネーターと一緒に自分の住みたい場所を探しました。

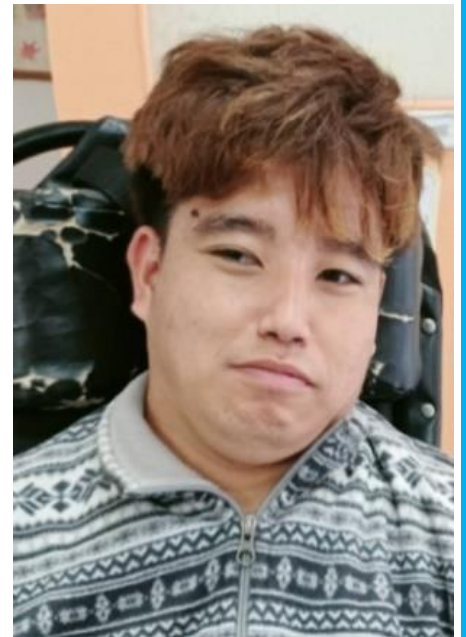
障害者のアパート探しで先輩達からよく聞いたことは、「障害者にはアパートを貸さない」「毎月の家賃は、払えるの?生活できるの?」という大家さんが多いとのことでした。最初会った大家さん一発でアパートが決まりました。これが一番嬉しかったです。

イルカへの行き帰りは、ノンステップバスで通っています。

コロナの前は沖縄のバス会社へ新しい職員が入った際にイルカからバスの乗り方や車いすの固定の仕方、コミュニケーションの取り方を研修でやっていました。そんなバスを使って毎日イルカへ来ています。

先日、イルカの仲間と一緒に活動してきて5年。本当は今年いっぱい宮古島に帰る約束でしたが、理事会で「イルカでもっといろんなことを経験し、もっと沖縄市で生活をしたい」と頼みました。

その結果、期限なしでイルカに残ることが承認されました。いままで以上に頑張ろうと思いました。



公園の障害者トイレ使用についてバリアフリーチェック

2021/07「トイレ度々閉鎖」という新聞記事を見て、北谷町の公園の多目的トイレが度々閉鎖されていることを知り、公園のトイレはいつでも利用できる場所だと思っていたが、度々、閉鎖されているのを疑問に感じ、バリアフリーチェックを行い、直接確認してきました。北谷町の公園13カ所を見て回り、今回の調査では、閉鎖されている多目的トイレは無かったが南京錠が設置してあるところがいくつかあり、公園の利用時間外になると南京錠でトイレを施錠または公園全体がチェーンを張られ利用不可になっていました。また、多目的トイレだけでなく、全トイレを施錠している公園が6カ所ありました。これは、防犯上の理由で施錠しているとの事です。

ある公園の管理者に問い合わせると、一カ所の公園でトイレの故障による修理の期間中、多目的トイレを資材置き場として使用し、施錠している時期(約半年間)があったが、現在は利用することができるかと返答がありました。ほとんどの公園は利用時間が7時~22時だが、別の公園では、8時~22時と公園の利用時間が1時間短い公園もありました。

私のイメージでは、公園のトイレは24時間利用出来るものと考えていたので、トイレが施錠、または公園が利用不可の時間帯に公園のトイレを利用したくても利用することが出来なかったら困ると思いました。



バリアフリーチェックをこれからも、続けて24時間も開くように活動していきたいです。

